



「志成」=志有る者、事ついに成る=

PTAだより

2012.12.21
Vol.82

滋賀県立河瀬中学・高等学校PTA会報

去る十一月十日、ひこね市文化プラザにおいて、高等学校創立三十周年・中学校創立十周年の記念式典



記念式典を終えて

PTA会長

稲毛 友幸

が、在校生や教職員をはじめ、学校関係者・同窓生・PTA役員など多数出席の中おごそかに挙行されました。式典では国歌斉唱のあ



「滋賀県立河瀬高等学校30周年・河瀬中学校10周年記念式典」
平成24年11月10日(土)
ひこね市文化プラザ グランドホール

と、標敏学校長の式辞、谷口典隆実行委員長の挨拶、来賓祝辞とつづき、生徒代表として高校生徒会長の上田彩果さんが、河瀬の未来にむけた誓いを力強く述べられました。そして、校歌を全員で斉唱をし、式典はほどなく終了いたしました。

その後、記念講演会にうつり、宇宙飛行士の山崎直子氏による「宇宙、人、夢をつなぐ」と題しての講演がおこなわれました。宇宙ステーションでの映像を見ながら体験話をされ、夢の実現には、なにごとにも果敢に挑戦し、あきらめずに行動し続けることの大切さを熱く語られました。

式典のフィナーレを飾ったのは、記念コンサートで、ハーブを内田奈織氏が、ヴァイオリンを本校卒業生の高岸卓人氏が演奏され、吹奏楽部との見事なジョイントコンサートもあつて、感動のうちにすべての記念行事を終えました。

式典は、過去と現在、そして未来をつなぐ儀式であり、ひとつの「けじめ」であるかもしれない。偶然にも、この節目の式典に立ち会えたことに心から感謝するものです。

そして何よりも、ここに本校が新たな一步を踏み出したことを、保護者の皆さんとともに分かち合いたいと思います。

自分らしくあるために

校長 標 敏



をお持ちの山崎さん、宇宙飛行士となって飛ぶことができるようになるまでの11年間の苦労話も淡々と語られました。まるで映画がドラマの世界にいるような気持ちになった内田さんの演奏、内に秘めた情熱をこれでもかといわんばかりに4本の弦で表現してくれた高岸くん。まさに「本物」との出会いの一日でした。60近い私でさえ、何かやれるのではないかという力をもたうことができました。

生徒たちは自分の将来や進路には多少なりとも不安を抱いています。しかし、そんな「本物」との出会いは、その不安や迷いを吹き飛ばすに十分余りあるもので、大きな夢と希望と力をもたらしてくれたに違いありません。

去る11月10日には、高等学校30周年・中学校10周年記念式典を盛大に執り行っていたいただきました。PTAの皆様には格別のご支援を賜り、おかげさまでいっそう恵まれた教育環境の中、生徒たちは日々の学習活動に取り組んでおります。厚くお礼申し上げます。

宇宙飛行士の山崎直子さん、著名なハーブ奏者の内田奈織さん、本校卒業生であるバイオリニストの高岸卓人さんが式典に華を添えてくださいました。宇宙から地球を丸ごと見たご経験

「宇宙飛行士になる道はいくつでもあります。何をやるにしても、ゴールへの道は無数にあります。どの道を選ぶかではなく、どう歩んでいくかだと思います。」山崎さんがおっしゃったことばです。生徒たちの歩みは決して人に追いつくためのものではなく、自分らしくあるためのものがあることを私たちはしっかりと伝えたいものです。

平成24年度 前期 学校評価

本年度も学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。昨年度と比較して平均がよくなった項目、悪くなった項目の主なものを掲載します。平均がよくなった項目につきましては、改善策を検討し、学校運営に生かしてまいります。

【保護者】

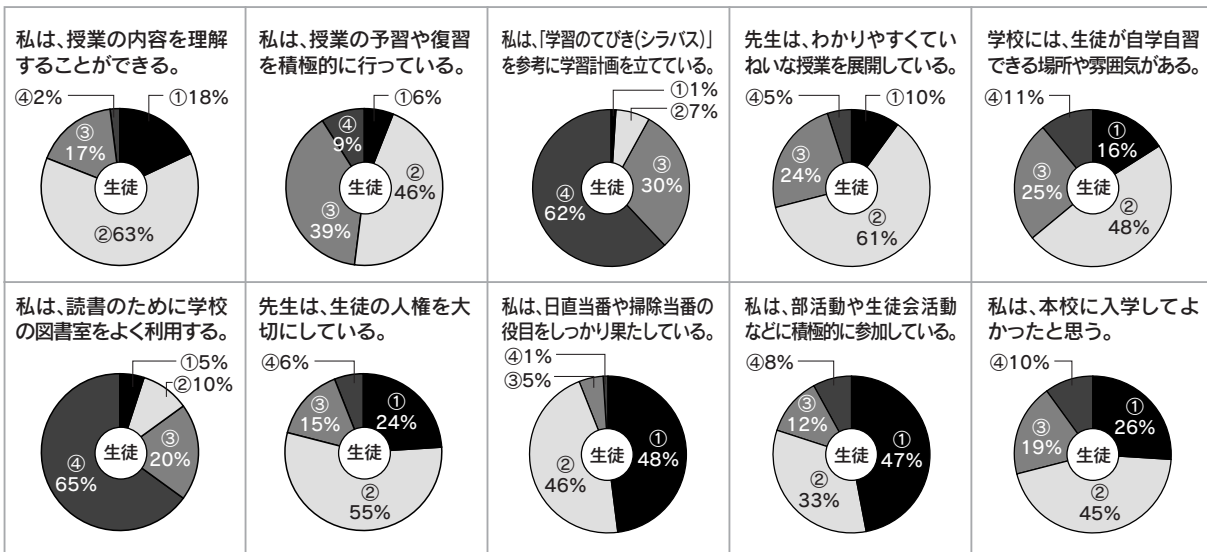
- 平均がよい（1・8ポイント以下）の項目
 - 学校は授業を確保し計画的な学習指導を行っている。
 - 私は、学校や社会のルールを守るようにいつも自分の子どもに言っている。
 - 私が学校を訪れたときや電話をしたときの教職員の対応は、ていねいである。
 - 私の子どもは充実した学校生活を送っている。

【生徒】

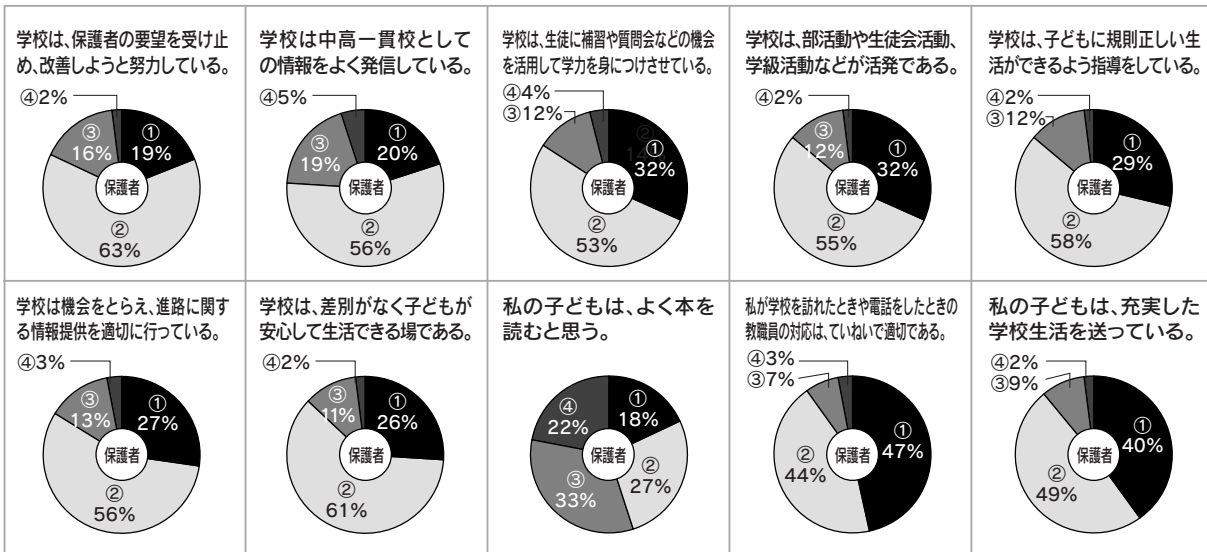
- 平均がよい（1・8ポイント以下）の項目
 - 私は、頭髮や服装などの学校の規則をしっかり守っている。
 - 私は、通学するとき交通規則やマナーを守っている。
 - 私は、お互いの人権を大切にしている。
 - 私は、日直当番や掃除当番の役目をしっかり果たしている。
 - 私は、学校の設備や部品を大切にしている。
 - 実験・実習・実技を伴う授業では、備品や設備が十分に準備されている。
- 平均が悪い（2・5ポイント以上）の項目
 - 私は、「学習の手引き（シラバス）」を参考に学習計画を立てている。
 - 私は、補習や質問会など発展的な学力をつける機会を活用している。
 - 私は、読書のために学校の図書室をよく利用する。
 - 私は、放課後などに学校で自学自習をしている。

各質問に対する解答は、次の通りです。

- ①当てはまる
- ②ほぼ当てはまる
- ③どちらかという当てはまる
- ④ほとんど当てはまらない



生徒アンケート結果（抜粋）



保護者アンケート結果（抜粋）

PTAの新たな活動 PTAラウンジ・ペットボトルキャップ回収

PTAとしての 新たな取り組み

教育振興会会長

田河 靖史

日頃は、本校PTA活動に一方ならぬご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度はPTAとして、今まで以上に、会員皆様にご理解を頂き、またご参加頂くという趣旨のもと、二つの取り組みをいたしました。一つは、昨年までの『校長室へ行く』を、見つめ直し、『PTAラウンジ』という新しい形で、PTA会員同士の交流を図るとともに、PTA活動全般について理解を深めて頂くという目的で、7月6日(金)の体育祭の日に開催させていただきました。当日は、天候が危ぶまれる中、体育祭が挙行され、我が子の応援に來られた会員の皆さま方が、各競技の合間を縫って、『PTAラウンジ』に

お越し下さりました。ラウンジ用に張ったテント内で、活動を記録したアルバムや、会員様同士のお話に花が咲いていました。ありがとうございます。

もう一つは、PTAとしての社会貢献です。私たちPTAとして出来る社会貢献として、ペットボトルキャップとアルミ缶のプルトップの回収をさせて頂いております。これは先程の『PTAラウンジ』開催日より、継続して行っており、沢山の御協力を頂きました。現在も生徒昇降口付近に専用の回収箱を設置しておりますので、ご協力頂きますようお願い申し上げます。



平成24年度 近畿地区高等学校PTA連合会大会

《大会期日》

平成24年7月1日(日)

《開催会場》

神戸国際展示場2号館

《テーマ》

「人と人との絆を深め
未来を担う高校生と元
気を分かち合おう」

《参加者》

稲毛友幸・田河靖史・松崎和代・池田俊彦・田中浩美・三崎克己・瀬戸口敏志計7名

《日程》

9:30～ 歓迎アトラクション
県立西宮高校音楽科
卒業生有志ら

近畿大会に参加して

PTA副会長

池田 俊彦

7月1日に近畿地区高等学校PTA連合会大会兵庫大会が、神戸国際展示場で行われました。アトラクションとして兵庫県立西宮高校音楽科卒業生有志による演奏と神戸市立須磨翔風高校による和太鼓演奏は、その素晴らしい感動しました。記念講演としてイラストレーター永田萌さんの「夢見る力を育てる」と題した講演があり、子供たちが夢を実現するための答えは一つではなく、答

えを出すことを急がないことが大切であると話されました。後半は独自のファンタジー感を持つ作品紹介と解説があり、作品に対する想いが伝わる貴重な時間を過ごせました。特別分科会では「わが子のコミュニケーション」を向上させるには「のテーマで森山卓郎氏の講演がありました。コミュニケーションとは問題型と問題解決型があり、使用する言葉の大切さを話しさされてきました。私自身を振り返ると問題型V問題解決型ではないかと、反省を含めたお話を聞くことができ勉強になりました。

10:00～ 開会式
11:10～ 記念講演
「夢見る力を育てる」
講師 永田 萌氏
(イラストレーター・
絵本作家)



近畿大会に参加して

教育振興会副会長

三崎 克己

今回PTAの役員デビューの私は、この近畿大会を楽しんでまいりました。

まず、開会式での感謝状表彰における代表者謝辞はウィットにあふれ、射たその内容に会場が活気が一挙に和やかなムードに包まれました。さて、イラストレーターの「永田萌」さんの講演や分科会でのパネルデ



13:40～ 分科会
特別 わが子のコミュニケーション力向上を向上させるには
第一 学校教育とPTA
第二 地域社会とPTA
第三 家庭教育とPTA

イカッションでは、子どもたちに「生きる力」や「コミュニケーション力向上」について議論されました。それには子どもたちが「将来への夢を働かせる」ことや「想像力を思いやる心が生まれ、そこからコミュニケーションが生まれ、『生きる力』につながる」ということを改めて気づかされました。今後もうこうしたPTA大会が活性化され、保護者力向上に繋がる場となるよう期待します。

平成24年度 全国高等学校PTA連合会大会 和歌山大会

《大会期日》

平成24年8月23日（木）
～24日（金）

《開催会場》

和歌山ビッグホエール、
武道・体育センター和歌
山ビッグウエーブ ほか

《テーマ》

『和をもって響き合え！』
『サブテーマ』

「～つれもて広げる
共有の輪～」

《参加者》 稲毛友幸・田河
靖史・松崎和代・池田俊
彦・田中浩美・樺敏
(以上6名)

《日程》

8月23日（木）
10：10～ 高校生歓迎ア
トラクション（向陽中学
校・高等学校吹奏楽部）
11：00～ 開会式
12：15～ 高校生アトラク
ション 和太鼓・少林寺・箏曲

あきらめない心の大切さ

PTA副会長

松崎 和代

晴れ渡る青空の下、全
国高等学校PTA連合会
大会和歌山大会が8月23
日、24日に盛大に開催さ
れました。「和をもって響
き合え」をメインテーマ
に昨今忘れられがちな人
と人とのつながりを考え
る良い機会となりました。

23日に行われた基調講
演は、近年映画で話題と
なった小惑星探査機「は
やぶさ」の生みの親であ
る宇宙航空科学研究所発
構教授の川口淳一郎氏
のお話でした。打上から
帰還までに何度もトラブ

ルに見舞われ紆余曲折し
ながらも乗り越えてきた
はやぶさのお話や、「高い
塔を立ててみなければ新
たな水平線は見えてこな
い」というお話を聞き、
何事も最後まで諦めず
高い志を持ち、新たなこ
とにチャレンジすることに
の大切さを考えさせられ
た講演内容でした。今回
全国大会に参加し、たく
さんの方と出合いパワ
ーを頂きました。PTA活
動と言えば何か近寄り
たいイメージですが、高
校は親が学校に関われる
最後の場所です。皆さん
が参加しやすい親しみの
あるPTAを目指し取組
んで参りたいと思います。



13：20～ 基調講演
「はやぶさ」が挑んだ
人類初の往復の宇宙旅
行、その7年間の歩み」
講師 川口淳一郎氏
(宇宙航空科学開発機構
教授)

全国高等学校PTA連合会大会 和歌山大会に参加して

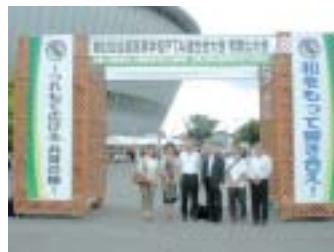
教育振興会副会長

田中 浩美

第62回全国高等学校PTA
連合会大会が、8月
23日、24日に世界遺産の
宝庫紀州和歌山にて開催
されました。我が校から
は、樺校長とPTA本部
役員ら6名が参加させて
頂きました。

基調講演では、「はやぶ
さ」を7年間の宇宙旅行
から無事に帰還させた宇
宙航空科学開発機構川口
淳一郎氏、また「はやぶ
さ」の地球帰還の様子を

- 8月24日（金）
- 9：10～ 分科会
- ① 学校教育とPTA
- ② 進路指導とPTA
- ③ 生徒指導とPTA
- ④ 家庭教育とPTA
- ① 防災教育とPTA
- ② 地域コミュニケーション
とPTA
- 11：45～ 閉会式



観測した和歌山大学観光
学部教授尾久土正己氏の
講演がありました。川口
氏は、私たちにとって未
知の世界の人。しかし、
ユーモアを交えながらも
失敗を恐れるのではなく、
成功するための方法を考
え、チャレンジすることに
の重要性を教えて頂きま
した。

創造を成功させるには、
自分が得た知識や物事を
効率よくこなしていく力
が必要であり、その学び
の大切さを私たち保護者
は、未来を担う子どもた
ちに伝えていきたいと思
います。

平成24年度 高P連 湖東ブロック 研修連絡協議会

《日時》

平成24年11月24日（土）

《場所》

滋賀県立彦根東高等学校
(会議室)

《日程》

13：30～ 開会行事・挨拶
彦根東高等学校PTA
会長 倉田康弘氏

滋賀県立彦根東高等学校
副会長 吉川稔氏

13：45～ PTA活動
の取り組みについて
(発表)

① 彦根翔陽高等学校

② 愛知高等学校

14：00～ 講演会

演題 「びわ湖放送の
40年と滋賀県」

講師
びわ湖放送株式会社

彦根支社 報道支局長
中江彰氏

15：30～ 開会行事・挨拶

彦根東高等学校
校長 善住喜太郎氏

《参加者》

PTA本部役員 4名

PTA評議員 2名

高校教頭

PTA担当教諭 計8名

ブロック研修会に 参加して

監査委員

荒川みゆき

彦根東高校で行われ
た研修会に参加して、彦
根翔陽高校と愛知高校の
PTA活動への取り組み
の発表を聞いてきまし
た。両校共、研修旅行や
挨拶運動、新聞・会報の
作成、学校行事へも積極
的に参加されていました。
特に愛知高校では、
生徒と共に活動する事業
が多く、文化祭では模擬
店を出店されていました。
とても子供達との交
流を大切にされていると
感じました。後半は、び
わこ放送彦根支社報道局
長の講演会でした。開局
して四〇年。数々のトラ
ブルも対策を練り改善し
てきた裏話を聞かせてい
ただきました。また、滋
賀県の高校生も全国レベ
ルになってきた喜びと、
全県一区になり、さらに
魅力ある学校作りが今後
必要になるのではない
か、と課題をいただきました。
生徒だけでなく、
保護者にとっても魅力あ
るものにしていく必要が
あるように思いました。

総務委員会

平成24年度 PTA研修旅行

《期 日》
平成24年10月8日(月)

《行 き 先》
関西学院大学

《行 程》
7...50 学校集合
8...00 出発
10...40 関西学院大学到着
卒業生の案内による
キャンパスツアー
13...15 昼食バイキング
ソムリエによる
『食とワイン』講座

《参加数》
保護者 54名
教員 9名
《アンケートの感想・意見より》
・二年連続で参加させて頂きました。とてもよかったです。高校生活もあと少し。親の方も最後の子どもなのではないと思います。子どもが高3なので、これが最後の研修旅行になります。色々とお世話になり、良い研修旅行でよ



かったと思います。
大変有意義な一日でした。大学見学では、今回のようになんか新鮮でよかったです。ありがとうございます。

親睦を深めたPTA研修旅行

総務委員長
福原 良春

今年度は、参加者63名がバス2台に分乗し関西学院大学と神戸方面に向かいました。多くの参加者を募るため祭日に設定したのですが、大学が休業日のため図書館をはじめ建物の一部を見学。案内は、午後から授業があるにもかかわらず、河瀬高校の卒業生が親切丁寧

に対応して下さいました。広いキャンパスでは、チャペルで結婚式が行われていたり留学生も歓迎していたりとグローバルな大学の雰囲気を感しました。また、学業だけでなくクラブやサークルも盛んで、仲間とともに目標に向かい活躍している学生たちを感じました。昼食は、豪華なホテルバイキングを堪能しつ

環境整備委員会

PTA除草作業に参加して思うこと

環境整備委員長
加藤 健一

8月25日の午前、じつとしていても汗が流れる暑さ厳しい中、「PTA除草作業」が行われました。参加していただいた保護者、教職員、生徒の皆さんには本当にご苦労様でした。校舎周辺の雑草がきれいに刈り取られた様子を見て、「夏休みも終わりなんやなあ」と何となく物寂しく感じました。PTAの活動なので、本来なら保護者と教職員で作業を行えばよいのですが、「お手伝い」として参加してくれた生徒たちも実によく動いてくれました。感謝しています。ところで、生徒たちと一緒に作業することの



意義は大きいと思います。が、ふと、「何故、一部の運動部の生徒“の参加なんだろう。”と疑問に思うところがありました。ある生徒さん(その生徒さんは部活動がなかったんでしょね)が、何気なく漏らした不公平感に、「確かにその通りだなあ」って感じたものですから。

生徒指導委員会

《活動内容》
朝の挨拶運動
(6月〜3月 計9回)

《参加状況》
6月15日(11名)
7月17日(10名)
9月14日(5名)
10月16日(7名)
11月15日(5名)
12月14日(6名)

《実施予定》
1月15日(火)
2月15日(金)
3月14日(木)

6月から実施しました挨拶運動には、多くの生徒指導委員の方々に来ていただき誠にありがとうございました。挨拶の大切さや交通ルール・通学マナー等について、ご指摘いただいたことを今後の指導に生かしていきます。残り3回となりましたが、引き続きよろしくお願いいたします。



校則は守って当たり前!

生徒指導課主任
位田 敏夫

学校というのは、一定の決められたルールの中で、人として生きていく上で大切なことを学んでいく場です。特に学校生活では、常に適度な緊張感と一体感が必要です。身なり服装指導や遅刻指導等は、そういった観点で現在も取り組ん

でいます。まず、遅刻指導ですが、朝の遅刻が以前に比べて激減しました。SHR開始の8時35分間に合うよう登校するのが当たり前です。今年度の一学期は遅刻者がほとんどいませんでした。しかし、二学期になって中高とも若干遅刻者が増えていきます。ほとんどが寝坊や自宅を出るのが遅すぎたという理由です。中学生や高校生になって、

いつまでも親に起こしてもらっていませんか。自分で起きて学校に遅れず登校することは、当然のことです。早く自立してください!また、身なり服装指導では、男子ソックス違反(色は白・黒・紺)が多く、女子はスカート丈の短い生徒の指導が目立ちました。特に女子スカート丈の指導については、湖東地区生徒指導連絡協議会の重点指導項目としてあげており、各校でしっかり取り組んでいこうということになっていま

す。今年度は、県内で9月に痴漢や不審者が多発し、滋賀県に女性対象犯罪(痴漢等)多発警報が出されました。全国的にもこのような警報が出されることは、大変珍しいことです。本校でも数件痴漢・盗撮等の被害にあった生徒がいます。このような被害にあわないためにも女子スカート丈は、膝頭より短くしないでください。今後とも、保護者の皆様にもご理解とご協力をよろしくお願い致します。

未来の若者を育てる

進路指導課主任
藤田 行雄

私の住む近くに、大手企業の工場が建てられて約四〇年になります。その企業が、不景気の影響で規模を縮小するそうです。長年自宅より通勤できていたのが、一転通勤や転職を余儀

なくされる社員が多数出ることになったと聞きました。このようなことは、今の日本では日常茶飯事で、海外への赴任も当たり前前の時代になってきました。また、若者の中には就職できずにフリーターになり、挫折してニートになる人が二割を占めるようになったと報道されていま

す。日本ではこのような厳しい社会情勢は、これからも続くと思えます。しかし、若者たちには未来の日本を背負って行ってもらわなくてはなりません。そんな中で、私たち大人は、これからの子どもたちにどのような接していけば良いのかと不安になります。先々を考えて、前もって無難なルールを敷くことが、子どもたちにとって本当に良いことなのか。せめて

て親や教師は、若者たちに希望を持ってもらうためにも、自分たちの失敗を語ることで「多少の失敗は問題ない」「挫折したときはどう乗り越えるか」といったことを、大人の智慧や経験を通して伝えておきたいものです。そうすることで、少々の困難にも負けない若者を育てることが、明日の日本を背負う若者を育てることにつながるのではないかと思います。

○放送部 (滋賀県高等学校総合文化祭)

- 朗読部門 八木 瞳 …第5位
- アナウンス部門 井上 奏子…第5位
- (近畿高等学校総合文化祭) 出場
- 科学部 (滋賀県高等学校総合文化祭 自然科学部門) (第66回滋賀県児童生徒科学研究発表大会高等学校の部) 科学部化学班(1年生) 「粘土と腐植が与える森林土壌への影響」 …第5位・読売新聞社賞受賞
- 来年度開催の全国高等学校総合文化祭長崎大会に出場
- 科学部生物班(2年生) 「土壌から見る森林のあり方～彦根山と荒神山の比較～」 …第1位・滋賀県教育長賞受賞
- 来年度開催の全国高等学校総合文化祭長崎大会に出場

○吹奏楽部 (滋賀県高等学校総合文化祭) 参加

- 来年度開催の全国高等学校総合文化祭長崎大会に出場
- (第24回滋賀県マーチングコンテスト) …金賞受賞・滋賀県代表
- (第40回関西マーチングコンテスト) …銅賞受賞
- (近畿高等学校総合文化祭) 参加

○ESS部

- (第29回全国商業高等学校協会英語スピーチコンテスト滋賀県大会) 暗唱の部(2名出場) 吳 方舟 …優秀賞受賞
- (聖トマス大学創立50周年記念STU杯高校生スピーチコンテスト本大会) 岸 清子・梅井 千那実 出場
- (第22回ミシガンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト本大会) 吳 方舟 出場
- (朝日大学第28回高等学校英語弁論大会本大会) 竹内 彩紀 出場

○書道部 (滋賀県高等学校総合文化祭) 参加

- (近畿高等学校総合文化祭) 参加

○美術部 (滋賀県高等学校総合文化祭) 参加

中学

- 卓球部 (滋賀県中学校秋季総合体育大会) 男子団体 …第3位
- 男子個人 中川 聖斗:ベスト8
- 女子団体 …第3位
- 女子個人 辻 幸奈:準優勝
- 軟式野球部 (滋賀県中学校秋季総合体育大会) 河瀬 0-2 彦根東
- 女子バレーボール部 (滋賀県中学校秋季総合体育大会) 河瀬 2-0 多賀
- 河瀬 0-2 彦根南
- 河瀬 0-2 甲良
- 剣道部 (滋賀県中学校秋季総合体育大会) 男子団体 河瀬 0-2 愛知
- 河瀬 2-0 彦根
- 河瀬 0-4 彦根南
- 女子団体 河瀬 0-4 彦根東
- 河瀬 1-3 朝桜
- 男女個人 1回戦～3回戦敗退
- 女子バスケットボール部 (滋賀県中学校秋季総合体育大会) 河瀬 81-4 秦荘 …県第2位
- 河瀬 23-58 稲枝
- 陸上競技部 (滋賀県中学校秋季総合体育大会) 男子800M:田中優希 2'11"88 …県第2位
- (第66回滋賀県児童生徒科学研究発表大会中学校の部) 発表の部 最優秀賞「ナナフシの観察パート6」 林 裕奈 …滋賀県科学教育振興委員会委員長賞 (第56回日本学生科学賞) 中央出品

2学期
河瀬中高のよさ

高校
高大連携



今年度の滋賀県立大
学との連携講座は、物
理分野が7月30日(月)、
生物分野が7月18日
(水)、8月23日(木)、
24日(金)の日程で行わ
れました。内容は、物
理分野「半導体の歴史
とLSIの進化」・
「ホール効果の実験」・
生物分野「イネのDN
A解析」・「河川環境
と底生生物群集」でし
た。参加生徒は延べ17
名で、講義、実験実習
考察等を行いました。
大学の実験装置等を使
用させていただき、内
容的にもレベルの高い
講座でした。

中学
スタープログラム

今年度も、博士課程を修了された先生方に、宇宙をキーワ
ードとしてそれを取り巻く科学技術を題材に授業を行って
もらいました。

一年生は「宇宙は夢ではない」と題し大阪工業大学工学部
教授の田原弘一教授に、飛行機がなぜ飛ぶのか?ロケットの
ように垂直に飛べない理由、小惑星探査機「はやぶさ」が小
惑星「イトカワ」をめざした理由等、難しい原理などもわか
りやすく教えていただきました。実物のジェットエンジンの
噴射実験では、そのエネルギーの大きさを体感することがで
きました。また、「はやぶさ」に搭載された電気推進ロケット
エンジンの開発研究に携わってこられた技術を生かし大学で
人工衛星(プロイテレス)を今年の九月九日にインドから打
ち上げられた話も聞かせていただきました。「はやぶさの表面
が金色なのはなぜ?」プロイテレスが帰ってくるのはいつ?
等生徒からも質問が出されるなど、興味・関心が深まりまし
た。最後に先生が「宇宙を目指したとききっかけは単純でした、
あきらめないことがたいせつです。」と結ばれました。

二年生では、「アンモナイトを調べよう」と題し岐阜大学教
育学部の川上紳一教授から中学生代の示準化石であるアンモナ
イトを渡されて、スケッチし、その種類によってその地層が
いつの年代のものか、さらに細かく特定されるなど、観察す
る力の大切さも学びました。また、アンモナイトの化石が畑
にごろごろ転がっている様子の写真には、驚かされました。
そのアンモナイトとつながる生物について、簡単な実験から
どんどん考えさせられ、考える大切さを学びました。

三年生でも、川上紳一教授から実習や講義を受けました。
天体望遠鏡の製作から始まり、月の観察を行いました。製作
を行うことで、望遠鏡の原理についても学ぶことができました。
「観察したスケッチから何がわかる?」「マイクを向けられ
説明する難しさを感じたと思います。また、一月の表面の白い
ところと黒いところ、何が違つか?」「なぜそのようになっ
たのか?」色のついた砂で月の表面の地層を再現して、鉄
球を衝突させ、その結果から月でどんなことが起こり、現在
のような様子になったのか考えることができました。さらに、
滋賀大学教育学部の大山真満准教授には、太陽について講義
を受け、今年最大の天文ショーとなった、金環日食の観測か
ら多くの疑問を投げかけられ、自分自身が、考えることを通
して学ぶということの大切さを体得する機会となりました。



中3 「太陽の科学」
大山真満准教授



中3
「望遠鏡を作って探る 月の起源と進化!」
川上紳一教授



中2 「アンモナイトを調べよう」
川上紳一教授



中1 「宇宙は夢ではない」
田原弘一教授

主な大会結果

高校

- 硬式野球部 (秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会)
 - 1回戦 河瀬 0-3 玉川
 - (第39回一年生野球大会(主催:滋賀県高等学校野球連盟))
 - 準々決勝 河瀬 3-6 伊香
- サッカー部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 1回戦 河瀬 4-0 伊香・長浜農業
 - 2回戦 河瀬 0-4 膳所
- 男子バスケットボール部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 1回戦 河瀬 61-74 虎姫
- 女子バスケットボール部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 2回戦 河瀬 69-41 能登川
 - 3回戦 河瀬 59-51 膳所
 - 準々決勝 河瀬 22-109 滋賀短大付属 …ベスト8
- 陸上競技部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 男子4×400mR 松田・高岡・西村・岡野
3' 27" 85 …第4位
 - 女子200M 高橋 美花 27" 00 …第6位
(滋賀県高等学校駅伝競走大会)
 - 男子の部 2:26' 04 …第8位
(近畿高等学校駅伝競走大会) 男子の部 出場
- 男子ハンドボール部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 予選リーグ 河瀬 16-21 彦根総合
 - 河瀬 33-4 愛知
 - 決勝T 1回戦 河瀬 16-22 彦根東
 - 大会優秀選手 津田 修人

- 女子ハンドボール部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 予選リーグ 河瀬 4-21 彦根翔陽
 - 河瀬 18-4 米原・近江
 - 河瀬 6-20 大津商業
- 卓球部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 男子団体 1回戦 河瀬 2-3 守山北
 - 女子団体 1回戦 河瀬 0-3 近江
 - 男子ダブルス 2~3回戦敗退
 - 女子ダブルス 村木・福山組 …ベスト16
 - 男子シングルス 1~4回戦敗退
 - 女子シングルス 1~3回戦敗退
- 剣道部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 男子団体 1回戦 河瀬 1-4 石山
 - 男子個人(5名出場) 1回戦~3回戦敗退
 - 女子個人(1名出場) 1回戦敗退
- 男子バドミントン部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 団体戦1部リーグ戦8校
 - 河瀬 0-3 比叡山
 - 河瀬 0-3 石山
 - 河瀬 3-1 彦根工業 …第5位
- 女子バドミントン部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 団体戦 1回戦 河瀬 1-4 彦根翔陽
- 女子バレーボール部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 予選リーグ 河瀬 2-0 日野
 - 決勝T 河瀬 2-0 栗東
 - 河瀬 0-2 近江
- 女子ソフトテニス部 (滋賀県高等学校秋季総合体育大会)
 - 団体戦 1回戦 河瀬 0-3 八日市
 - 個人戦(3ペア出場) 1~2回戦敗退

中高 河瀬高等学校30周年・河瀬中学校10周年記念式典

11月10日(土)に滋賀県立河瀬高等学校創立30周年ならびに河瀬中学校創立10周年記念式典がひこね市文化プラザで催された。

来賓として、県教育委員会や、地域の方々、近隣教育関係の方々、歴代校長をはじめとする旧職員の諸先生方、くろがねの会の諸氏にご臨席を賜り、また本校同窓生、現PTA役員、在校生徒、職員、合わせて一千百余名が集いこの記念すべき節目を祝った。

檜 敏校長先生は「21世紀という君たちの時代をたくましく生き抜くべく、志を強くして、日々意欲的に学び続けて欲しい。」と式辞を述べられた。

記念事業実行委員長(高等学校同窓会長)の谷口典隆氏が「在校生の皆さんにはどんなハプニングにも負けない力強い人として社会人として大きく羽ばたいていただきたい。」と挨拶された。

また、来賓として滋賀県教育長の河原 恵氏のメッセージを教育次長の佐飛 晃氏が代読され、在校生に「21世紀をなう若者として、社会に貢献されることを期待しております。」とご祝辞を述べられた。

生徒代表の上田彩果さんは「先輩方から受け継いだ伝統を汚すことなく河瀬高校生・河瀬中学生としての自覚と誇りを持つ



て行動していきたい」と抱負を述べた。

その後、宇宙飛行士の山崎直子さんに「宇宙、人、夢をつなぐ」と題して記念講演をしていただいた。山崎さんは河瀬中高生を前に、自分の宇宙飛行士になるまでの経緯、宇宙での生活や不思議さを画像を使って紹介され、「何でもまずは行動に移すこと。一度や二度の失敗は気にせず、やりたい気持ちがある以上はやり続けることが大切」と夢を実現するまでの努力の大切さを話された。

つづいて、ハープ奏者の内田奈織氏、本校OBのヴァイオリン奏者高岸卓人氏と本校吹奏楽部とのジョイントコンサートを開催した。今回の創立記念事業の一環として購入していただいたハープのお披露目も兼ねて、内田氏と高岸氏とのデュオや独奏をご披露いただいた。そして本校吹奏楽部の演奏の後、高岸氏と吹奏楽部の共演により「情熱大陸」のテーマ曲を演奏し、式典に大きな花を添えていただいた。

これまでPTAの皆様には創立記念事業にご協力いただきありがとうございました。また、記念事業募金には多大なるご寄付を頂戴いたしましてありがとうございます。紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

高2 マレーシア修学旅行

前週9月26日(水)〜9月30日(日)、後週9月27日(木)〜10月1日(日)の日程で、マレーシアへの修学旅行を実施しました。

第1日目はクアラルンプールへの移動でした。現地に降り立つてまず感じたのは、空気が肌にまとわりつくような湿度の高さでした。第2日目は世界遺産の街マラッカ観光(前回は第3日目)。中国と南欧とが同居する町並みを散策、セントポール教会跡に立つザビエル像の視線の先、兎睛かすは海賊が出没したというマラッカ海峡の青でした。その後は行程中唯一前後団が一緒になるマレー舞踊鑑賞。生徒も教員もステージに上がったの舞踊に歓声しきり、熱気あふれるひとときでした。また、生徒のみんなの元気のよさも意外な発見でした。第3日目はバティック(ろうけつ染め)体験の後、バングリス村でのホームビジットでした(前回は2日目)。各家庭で昼食をいただき、子ども達と一緒に遊んだり、民族衣装を着せてもらったり、庭の果実をご馳走になったりと、温かな交流ができました。第4日目は現地大学生の案内によるクアラルンプール班別自主研修でした。思い思いのコースをたどりながら、片言の英語で交流し、最後は別れを惜しみながらホテルに帰着しました。

今回は、緊迫する日中関係や、イスラム教徒の反米活動など心配もありましたが、これも杞憂に終わり、安堵しています。また、天候にも恵まれ、大きく体調を崩した者も出ず、心に残る国際理解の旅ができました。



KLタワーを望む



バングリス村ホームビジット



マレー民族舞踊

PTAだより vol.82

2012.12.21.(金)発行

滋賀県彦根市川瀬馬場町975

滋賀県立河瀬中学校・高等学校

TEL 0749-25-2200

TEL 0749-28-2935

http://www.kawase-h.shiga-ec.ed.jp